

2005年6月15日

各位

株式会社 千趣会  
千趣会ゼネラルサービス株式会社

## 今年も8月より、聴導犬の育成をサポートいたします。

株式会社 千趣会(本社 大阪市、社長 行待裕弘)の子会社である千趣会ゼネラルサービス株式会社(以下「SGS」という、本社 大阪市、社長 島田勝利)では、2003年8月より2年間にわたり聴導犬の育成を支援しておりますが、今年8月より新たな聴導犬の候補犬1頭の育成を支援してまいります。

この聴導犬とは、耳の不自由な人の耳のかわりとなって、目覚まし時計や笛吹きやかん、玄関や電話のベル、非常ベルなど、生活にかかせない様々な音を知らせてくれる犬のことで、

1996年に任意団体として設立し、2003年に社会福祉法人の許可を得た日本聴導犬協会(所在地;長野県上伊那郡宮田村、会長;有馬もと氏)が、捨てられるなどして保健所で処分を待つ犬の中から適性のありそうな候補犬を選び、「聴導犬」に育成し、聴覚障害者の方に無料貸与しています。同協会によると、聴導犬の育成には最低1年5ヶ月を要し、費用は1頭につき60~80万円がかかるといわれています。聴導犬の数はアメリカでは約5000頭、イギリスは約1000頭に対し、日本では現在10頭(2003年10月1日からの身体障害者補助犬法施行以後の認定聴導犬数)にすぎず、他の先進国に比べて大きく不足しているのが現状です。

SGSではこれまでの2年間、カード会社6社と提携している千趣会メンバーズカードの収益の一部を協会に寄付することで、「すや」という候補犬の育成を支援してきましたが、今年8月からは、ビーグル系雑種の候補犬「べる」の育成支援をスタートいたします。この「べる」は千趣会の通販ブランド“ベルメゾン”から名付けられました。

また、聴導候補犬の詳細な成長記録をつづった「やさしさ通信」(A4版・3ヶ月毎/年4回)を発行しています。聴導犬の役割や現状についてご理解を深めていただくことを目的に、千趣会メンバーズカードの会員の皆様へご利用明細書とともに送付しているもので、お客様からは「毎号楽しみにしています」との声が寄せられています。「やさしさ通信」はSGSウェブサイトでも閲覧できます <http://www.sgs21.com>

SGSでは、今後も聴導犬の育成を積極的にサポートすることにより、ささやかながら社会貢献の種をまきたいと考えております。



聴導犬の候補犬「べる」



前足でタッチして飼い主に“音”を知らせる聴導犬

本件に対する問い合わせ先

千趣会ゼネラルサービス株式会社 大阪市北区同心1-6-27 マーケティング開発部 幸井恵子

TEL 06-6881-3031 FAX 06-6881-3060 E-mail k-koi@senshukai.co.jp